

きずな

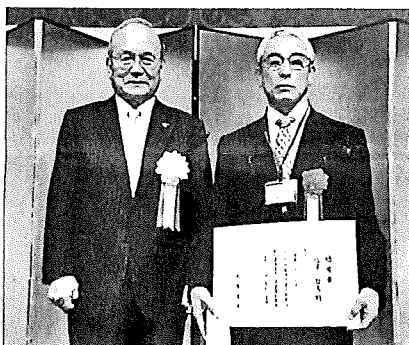
第49号

神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会 会報

発行 神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会
 発行責任者 会長 塩澤 哲夫
 編集責任者 副会長 渡辺 勇
 総務・広報委員長 杉山 五月
 U R L <https://kanagawakyougikai.com/>
 印刷所 貴峯荘ワークピア印刷科 0463-35-6170

2018・2019年度 役員挨拶

シオザワ テツオ
 会長 塩澤 哲夫



塩澤会長(右)※

※写真は、2017年度 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 会長表彰式
 (日にち:2018年2月20日、会場:ヒルトン東京お台場)

【目的】 本会は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会(以下「日障協」という。)公認障がい者スポーツ指導者の活動を通して、神奈川県における障がい者スポーツの発展に寄与することを目的とする。

【事業】 本会は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 障がい者スポーツ及びその指導に関する研修
- (2) 神奈川県の実施する障がい者スポーツ事業に対する協力
- (3) 横浜市・川崎市を除く神奈川県内(以下「神奈川県域」という。)の障がい者及び障がい者団体の実施するスポーツに対する協力
- (4) 神奈川県内のスポーツ団体等との連携
- (5) 会員の情報交換及び会員相互の親睦
- (6) その他、本会の目的を達成するために必要な事業 となっております。

会としての収入は、【目的】の冒頭に記載されている日障協(年度初めに会員は各自登録料3,800円払込)から会員一人につき1,000円が会員数分助成されます。それに、旧神奈川県障害者スポーツリーダー等からの年会費1,000円で、当協議会の予算書にも記載があります。よって、当協議会としては、会員の皆様のご理解を得ながら、幅広い年代層の障がいのある当事者の方々との関わりの中で、会員を対象に指導力や専門性の向上を図るため、障がい者スポーツとその指導に関する研修を行い、「神奈川県身体障害者連合会 神奈川県障害者社会参加推進センター」等の関係機関が開催する障がい者スポーツ講習会や教室への講師派遣及び運営面での支援も行いながら障がい者スポーツ大会にも協力します。また、「きずな」やホームページ等で情報発信するなど、今後さらに障がい者スポーツが普及・発展するように会員の皆様と共に歩んでいきたいと思っております。ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

ワタナベ イサム
副会長 渡辺 勇

この度、副会長の任を受けました渡辺勇です。塩澤哲夫会長を中心にして、障がい者スポーツ指導者を志した初心を忘れずに神奈川県における障がい者スポーツの発展に務めて参りますのでよろしくお願いいたします。「活発に地域で活動できている会員」、「県主催の競技大会に積極的に協力している会員」、「研修会へ積極的に参加して自己研鑽を重ねている会員」、各会員の皆様が自ら進んで選んだこの道を共に楽しんで参りましょう。

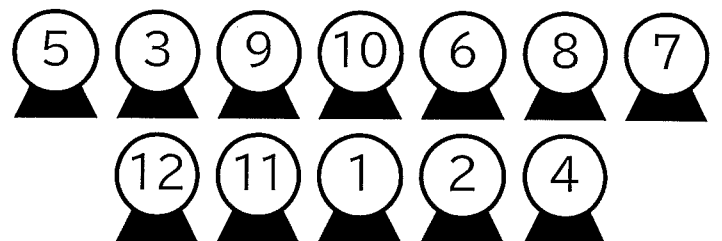
ヨコカワ ミツオ
副会長 横川 光雄

2020年には東京でのオリンピック・パラリンピックの開催が決定し、障がい者スポーツに対する関心も一段と高まりを増しております。これを機会に障がい者スポーツの裾野を大きく広げて行くとともに、競技力向上のみならず、障がい者スポーツの裾野拡大に向けて取り組んでまいりたいと思います。塩澤会長を補佐し本会発展の為、スポーツを通して豊かな社会の実現に向けて、活動を進めて行きたいと思っております。皆様方のご協力を、お願い申し上げます。

2018・2019年度 役員一覧

役職名		氏名	
顧問		① 内野 慎吾	
		牟島 秀保	
会長		① 塩澤 哲夫	
副会長	総務・広報総括事務	渡辺 勇	
副会長	競技・研修総括	② 横川 光雄	
理事	総務・広報委員長	③ 杉山 五月	
	総務・広報副委員長	④ 三神 敬弘	
	総務・広報委員		森坂 美保子
			⑤ 松本 英里子
			⑥ 上田 義則
	競技・研修委員長	⑦ 隈元 英孝	
	競技・研修副委員長	⑧ 加藤 萌哉	
	競技・研修委員		岩川 秀俊
			笹川 良夫
			⑨ 横山 弘美
会計		⑩ 西森 光華	
		江副 滋子	
会計監査		⑪ 飯澤 祥平	
		⑫ 佐々木 幸枝	

<第1回役員会 集合写真>



スギヤマ サツキ
総務・広報委員長 杉山 五月

今年度より総務・広報委員長になりました杉山五月です。総務・広報委員会は、会則第7章委員会(委員会及び職務)によると「本会の事務局の役割を担うとともに広報誌の発行など広報事業を担う」となっております。なお、今回より会報【きずな】等の発送には、封筒の大きさが変更になりましたので、郵便物にご注意下さいますようお願い致します。今後も皆様のお役に立てるように努めてまいります。

クマモト ヒデタカ
競技・研修委員長 隈元 英孝

今回の役員改選におきまして2018年・2019年度も競技・研修委員長をさせて頂くことになりました隈元です。競技・研修委員会としましては、指導者(コーチ)としての資質向上が大きな目標です。そのために年2回もしくは3回の研修会・競技力向上を目的とした研修会を行う予定です。今年度始めの研修会は9月頃開催予定、内容につきましては、10月に開催される「全国障がい者スポーツ大会」の競技種目でのコーチングを考えております。ご希望の研修等がございましたらホームページにご連絡を頂けたらと思います。

活動報告 ～参加者の声～

研修会:陸上競技における車いす使用競技者の種目とサポートについて

日 時:2018年3月18日(日)、場 所:神奈川県立伊勢原養護学校



トミタ マサシ
富田 政志さん

3月18日(日)、天候に恵まれた爽やかな春の日、神奈川県立伊勢原養護学校で開催された「陸上競技における車いす使用競技者の種目とサポートについて」研修会に20名程度が参加しました。私の参加目的はまだまだ未熟な指導者として様々な競技の技術習得と向上を目指して指導者としての幅を拡げていきたいと思ったからでした。今日は、車いすを使用する競技ということで、始めに車いす使用に関する基本的知識を教えてくださいました。日頃操作に関わる事が少ない参加者にとっては、とても

貴重な時間となりました。車いすは漕ぎ始めの段階ではゆっくり進みますが、走行を始めると加速し続けて、速い人は100mを14秒台で走行し、距離が長くなればなるほど、車いすですべて走行する方が速くなると説明があり参加者は皆驚いていました。投てき種目では「ジャベリックスロー(やり投げ)」と「ソフトボール投げ」を体験しました。競技者の中には車いすのバックレスト(背もたれ)を倒して投げる人もいたため、サポートは後部から車いすを支えながら安全のために身を屈めるという技術を学びました。その他、重度障がい者用投てき競技として紹介されたのは、乾燥した大豆が入った150gの袋を投げて競う「ビーンバッグ投げ」で、手で投げて足で投げてよいという説明がありました。最後は「スラローム」という種目でした。30mの距離を白い旗門は前進、赤い旗門は後進によって通過しなければならない競技です。まずは参加者で試行錯誤しながら旗門の設置を行った後、実技になりました。ルールは簡単でしたが、やってみると大変でした。特に難しかったのは周回旗門で1本目の旗門を右回り(左回り)した後、2本目の旗門を左回り(右回り)で1周し、通過することで旗門間を3回も通過しなければならないルールでした。車いすの操作で頭がいっぱいになり回数を確認する参加者も多く見られました。終了後は、後日の筋肉痛に備えストレッチした後、お世話になったグラウンドの整備を行って解散となりました。

本日の研修会を終え、競技者を尊重しながらニーズに寄り添っていくことの大切さを再確認する機会となりました。参加者一同、今回の研修内容を今後の活動に生かしていければと思います。

カラスダ アヤナ
烏田 彩那さん

はじめに車いすのタイプや操作方法を丁寧に教えていただき、続けてウォーミングアップの方法を教えてくださいました。「投てき競技」では安心して全力で投げてもらうために、低い姿勢でのサポートが大変でした。今度は私が投げる時には「後ろに倒れないかな？」と不安になることもありましたが、競技者と介助者の信頼関係が成り立ってこそベストなパフォーマンスが生まれるのだと実感しました。



【スポーツ庁長官】 我が国のスポーツ・インテグリティの確保のために

※一部抜粋

近年、様々な競技において、ドーピング、パワーハラスメント、暴力行為などの問題事案が相次いで発生している状況は極めてゆゆしき事態です。問題の背景・要因には、勝利至上主義、行き過ぎた上意下達(じょういかたつ)や集団主義、科学的合理性の軽視といった、日本のスポーツ界の悪しき体質・旧弊があるという厳しい指摘がなされています。

スポーツは、個人の心身の健全な発達、健康・体力の保持等を目的とする活動であり、国際的な競技力の競争を通じて国民を誇り、夢と感動を与え、さらには、地域・経済の活性化、共生社会や健康長寿社会の実現、国際理解の促進など幅広く社会貢献する営みです。

今こそ改めて、スポーツ界全体を挙げ、旧弊を取り除き、スポーツ・インテグリティ(Integrity ≡誠実性・健全性・高潔性)を高めていかなければなりません。こうした危機感に立ちつつ、スポーツに携わる関係者に対し、次の点について、真摯な取組を強くお願いします。

1. アスリートや指導者に対する教育・研修強化 (指導者→グッドコーチたる資質能力の向上)
2. アスリートの相談体制の充実、利活用の促進 (相談窓口の整備とアスリートへの周知)
3. 問題事案に係る公正・迅速な調査と説明責任の履行(事実関係の究明、再発防止策の実行)

スズキ ダイチ
2018年6月15日 スポーツ庁長官 鈴木 大地

秦野支部からのお知らせ

日頃より、秦野支部の活動にご協力を頂き、ありがとうございます。6月3日(日)には、秦野市カルチャーパークにおいて、「障がい者フライングディスク大会」が無事に終了いたしました。ご協力を頂いた会員の皆様へ感謝申し上げます。また、10月20日(土)に同じく秦野市総合体育館を会場に「パラスポーツフェスティバル」が開催されます。主催は秦野市スポーツ協会ですが、秦野支部は実技部分を委託されています。フェスティバルの詳細は話し合いの最中で未定の部分が多いのですが、集合8時30分～解散15時の見込みです。ご協力頂ける方には、参加賞と昼食を提供致します。秦野支部だけでは活動スタッフが不足しておりますので、広く県内の会員の皆様にご参加、ご協力をお願いいたします。この行事にボランティア参加して頂ける会員の方は、下記のいずれかの方法で、ご連絡をお願い致します。詳細が決まり次第、ハガキ等でご連絡致します。

アカサカミ ホ コ
秦野支部 赤坂美保子 Email:mihokoaka32@hotmail.com

電話:0463-81-0913、ファックス:0467-83-0810、携帯電話:090-7701-9358

横須賀支部からのお知らせ

本年度は、昨年に引き続き「日産カップ 車いすマラソンチャレンジ2.5km」出場プロジェクト(12月第1日曜日開催)及び11月11日に県立明光高校グラウンドをお借りしてのフライングディスク記録会を開催予定です。両企画ともに、開催に伴う研修会や練習会も予定しています。詳細につきましては、後日県協議会HPに掲載いたします。横須賀支部は、設立3年目を迎えいよいよ本格的な活動に取り組もうとしています。しかし、まだ知名度も実力も乏しく、試行錯誤の連続です。ぜひ、一緒に活動して頂ける仲間を募集中です。横須賀市内に在住・在勤の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

※お問合せは、県協議会のホームページより題名を「横須賀支部について」と記載し、ご連絡下さい。

事務局からのお知らせ

各種研修会や催しなどの最新情報は、随時ホームページでお知らせしています。定期的にホームページにアクセスして頂き、ご確認をお願いします。URL: <https://kanagawakyougikai.com/>